

平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【札幌市】

1 実践テーマ	【 I・V 】
2 実施対象者	札幌市立福住小学校 第6学年 103名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名（総合的な学習の時間） ② 行事名（ ） ③ その他（ ） (2) 地域における活動 ① イベント名（ ） ② その他（ ）
4 目標 (ねらい)	<ul style="list-style-type: none"> ・「総合的な学習の時間」における「Road to Dream」（進路探究学習）の学習としてオリンピックの話を読み、児童が困難を乗り越えて願いの実現に向けて取り組むことの大切さやスポーツの魅力を学ぶ。 ・将来への夢や希望を抱きながら自分の生き方への意思をもつことが出来るようにする。
5 取組内容	<p>○指導計画【6時間扱い】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の将来の夢や未来の姿について考える ・「ふるさと札幌」のよさを感じ、郷土を愛する気持ちを育む ・オリンピックの講演を通して、目標に向かって努力することの大切さを学ぶ ・改めて自分の将来の夢や未来の姿について考え直す <p>○取組の様子</p> <p>この学習では、児童が今の自分を見つめ直し、将来への夢をもつきっかけとなることを願って構成をした。</p> <p>まずは、どんな職業があるのかを図書やインターネットを活用して調べ、ワークシートにまとめた。これにより、今まで名前を知っていたが内容までは全く知らなかった職業がたくさんあることが分かった。同時に、自分の将来像を抱ききっかけとすることができた。</p>



	<p>次に、世の中には多種多様な職業が存在することを知った上で、今の自分の姿を見つめ直すことで、将来の自分の姿をイメージし、これから自分の身に付けるべきスキルや進むべき道を考える学習を行った。</p> <p>しかし、まだ経験していない将来について考えることは、児童にとってハードルが高く、難しいものであった。</p> <p>そこで、オリンピックである蛭沢大輔氏を招いて、スポーツを窓口として、夢をもって目標に向かうことの大切さ、様々な人との出会いの大切さなどを講演していただいた。この活動を通して、児童に、より具体的な将来のイメージをもてるように進めることができた。</p> <p>講演を聞いた後、児童は、蛭沢大輔氏のお話を通して、あるいは直接人柄にふれることを通して、自分なりの夢や希望をもち、将来像を描くことができた。</p>	<div data-bbox="986 73 1367 504"> <p>6年組各「Road to dream」 (9) センパイから学ぶ</p> <p>夢への道（蛭沢大輔さん編）</p>  <p>蛭沢 大輔 (あひざ だいきゅう)</p> <p>1978年5月26日生まれ。元ハイアスロン日本代表選手 2006年 トリノ冬季オリンピックに出場</p> <p>新潟県出身。東海高等学校に入学後、高校2年3年時に、全国高等学校スキー大会個人15kmフリー優勝を果たしました。その後、立教大学に入学し、4年生時にインカレ個人15kmクラシカル優勝、30km個人フリー優勝、40kmリレー優勝など輝かしい成績を残しました。2001年、現上自衛隊陸自歩隊に所属し、翌2002年に全日本スキー連盟アジアカップ 10km スプリント、12.5km バショート優勝という結果を残しました。2007年に現役引退し、現在は高栄化学株式会社勤務しています。</p> <p>参考 http://www.jpc.or.jp/teams/olympic/olympic_teams/olympic_teams.html http://www.sports-akita.jp/olympic/olympic_teams/olympic_teams.html</p> <p>ハイアスロンとは クロスカントリーとライフル射撃を組み合わせた二種競技のこと。</p>    <p>蛭沢大輔さんにテーマ「夢」について質問したいことを考えましょう。</p> </div> <div data-bbox="986 504 1367 772">  </div> <div data-bbox="986 772 1367 1111">  </div>
<p>6 主な成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・講師の方のお話がとても上手で、児童にとって大変親しみやすかった。 ・講演の内容が、幼少期からの講師の実体験を基に構成されていたので、児童は今の自分と重ね合わせて聞くことができた。そのおかげで、今までは遠くに感じていた自分の将来について、より身近に考えることができた。 ・夢を実現するためには、小さな努力が大切だと話していただいたおかげで、児童が書いた講演の振り返りカードには「今できることをこつこつと頑張りたい。」と目標に向かって頑張るきっかけとすることができた。 	
<p>7 実践において工夫した点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今回は、「職業調べ」と「オリンピックの夢や希望を聞く体験」を設定することで、児童が将来の夢や希望をもてるようにした。 ・児童全員が講話に集中できるよう会場を当初予定していた体育館から視聴覚室に変更した。講師との物理的な距離が近くなり、「身近な人」として接することができた。 	
<p>8 主な課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今回のような学習が一度だけではなく、複数回あると児童が自分の将来を段階的に考えることができた。1学期から少しずつ今回の経験を積み上げることで、児童が自分の将来と向き合う時間を設定できると、より学習が深まった。 	
<p>9 今後の取組について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「将来の夢・希望」というテーマで作文を書き、それを卒業文集の作品とする。職業だけにとらわれることなく、自分の夢や希望を膨らませることができるようにする。 	